

消防局

【款：消防費 項：消防費 目：常備消防費】

- | | | |
|-----|---|--------------------|
| (1) | 交際費
消防行政に必要な外部との交際に要する経費 | 10
(10) |
| (2) | 防災センター等備蓄事業費
非常用備蓄物資を防災センター等に備蓄する。 | 4,294
(4,711) |
| (3) | 防災センター研修事業費
防災センターの機能を活用した防災意識の普及啓発を行う。
防災センターを中心とした防火・防災指導教育
防災展等の開催 | 1,216
(1,145) |
| (4) | 消防活動事業費
複雑多様化する各種災害に対応するため、消防活動上必要な資機材等を整備するとともに、消防活動体制の充実を図る。 | 15,323
(15,800) |
| (5) | 救助隊整備事業費
複雑多様化する各種災害に対応するため、救助活動上必要な資機材等を整備するとともに、国際消防救助隊及び緊急消防援助隊への参画と派遣体制の充実を図る。 | 8,095
(6,976) |
| (6) | 救急活動事業費
傷病者の救命効果をより高めるため、救急救命士の常時 2 名乗車体制を目指した資格者の養成及び教育訓練の実施並びに活動資器材等を整備し、応急処置体制の充実強化を図る。また、メディカルコントロール体制のもと医師等による救急隊員教育の充実に努める。
市民に対して A E D の使用を含めた普通救命講習等を実施し、応急手当の普及啓発を推進する。 | 33,963
(32,627) |

《災害件数の推移》

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
火災件数	231	250	248	215	188
救助件数	313	324	331	318	301
救急件数	22,466	21,336	22,152	23,415	24,142
合 計	23,010	21,910	22,731	23,948	24,631

- | | | |
|-----|---|--------------------|
| (7) | 通信活動事業費
各種災害に対する指令管制業務を有効・適切に実施するため、市民からの 119 番通報の受付や緊急車両に対する出動指令等を行う消防指令管制システムを効果的に運用する。(H23より伊丹市と共同実施) | 82,568
(36,263) |
|-----|---|--------------------|

(8)	<u>予防活動事業費</u> 自主防災組織の育成指導に努めるとともに、防火対象物及び危険物施設の防火安全対策を推進する。	1,754 (1,559)
(9)	<u>車両維持整備事業費</u> 消防用車両及び消防活動用資機材の点検・整備並びに車両の継続検査・定期点検整備を実施する。 大型自動車運転免許を取得する。	7,998 (7,430)
(10)	<u>施設維持管理事業費</u> 消防署等の施設維持管理経費 施設数 消防署 4 分署 3 出張所 3 整備工場 1 竣工年 昭和 36 年～平成 2 年 管 理 直営管理	128,113 (130,344)
	 《尼崎市防災センター》	
(11)	<u>消防学校研修事業費</u> 兵庫県消防学校及び消防大学校において消防業務に必要な専門知識・先端技術等を習得させる。	7,884 (8,176)
(12)	<u>職員被服事業費</u> 消防職員の制服・活動服・救急服・救助服等の整備	8,421 (8,421)
(13)	<u>全国消防長会等負担金</u> 会費負担金、会議出席者負担金、分担金ほか	8,230 (8,331)
(14)	<u>職員旅費</u> 職員の研修旅費等	824 (824)
【款：消防費 項：消防費 目：非常備消防費】		
(15)	<u>消防団活動事業費</u> 複雑多岐にわたる各種災害に対応するため消防団活動上必要な資機材等を整備するとともに、消防団員退職報償金及び実費弁償金を支出する。	36,019 (42,261)
(16)	<u>車両維持整備事業費</u> 消防団車両の点検・整備を実施する。	3,100 (3,567)
	 《消防団ポンプ自動車》	
(17)	<u>施設維持管理事業費</u> 消防分団器具庫の施設維持管理経費 施設数 消防分団器具庫 58 (市有 49) 竣工年 昭和 32 年～平成 23 年 管 理 直営管理	1,781 (1,815)

(18) 消防団等交付金 10,160
 消防団運営経費として交付金を支出する。 (9,695)

(19) 兵庫県消防協会等負担金 1,129
 兵庫県消防協会等の活動を通じて、情報収集等を行い、消防行政の発展に寄与する。 (1,132)

【款：消防費 項：消防費 目：消防施設費】

(20) 消防設備整備事業費 240,248
 消防設備の整備を行う。 (155,548)

- 救助工作車 1台
- 高度救助用資機材 1式
- 高規格救急自動車 2台
- 小型動力ポンプ積載車 4台
- 消防活動用備品購入等



《救助工作車》

(21) 消防庁舎等整備事業費 15,322
 消防庁舎の施設整備を行う。 (6,252)
 ・消防局整備工場受変電設備改修工事等

(22) 消防救急無線デジタル化事業費 22,000
 災害活動上重要な情報伝達手段である消防救急無線について、『周波数割当計画の一部を変更する告示』により平成28年5月までにデジタル化移行が義務付けられたため、現行使用しているアナログ波対応機器からデジタル波対応機器への整備を行う。 (4,984)
 平成24年度事業 消防救急無線デジタル化実施設計業務

(23) 消火栓設置及び補修費負担金 33,443
 水道管工事等に伴う、消火栓の設置及び補修を行う。 (35,567)